

当院で承認された適応外医薬品等について

当院では以下の適応外医薬品を用いた診療を医療倫理委員会にて承認いたしました。

対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

適応外使用する医薬品の成分（代表的な商品名）	アリピプラゾール(エビリファイ)、クエチアピン(セロケル)、アセピソン(ソクルスト)、オランザピソン(ジプレキサ)、トラゾドソン(レスリ)、プロメチリン(メセ)、リスパリドソン(リスパダール)、ハロペリドール(ルーン)、ヒドメチジン(アラクソP)、ケルプロマジン(コトミン)、ハロペリドール(セネス)
承認されている主な適応	統合失調症、神経症（ヒドメチジン）
本医療の対象となる方	せん妄と診断された患者、およびせん妄が疑われた患者
概要	<p>【目的】</p> <p>せん妄は、原疾患に身体的・環境的な負荷が加わり、一時的な意識障害や認知機能の低下が引き起こされた状態です。その頻度は高く、環境調整や薬物療法により対処します。薬物療法としては適応外使用ではあるものの抗精神病薬を中心にを行います。厚労省保医発0928第1号23.9.28付通知より、器質的疾患に伴うせん妄・精神運動興奮状態・易怒性せん妄に対する処方としてハロペリドール、クエチアピン、ペロスピロンが記載され、社会的にも認知されています。ガイドラインや文献、書籍等においても、抗精神病薬が治療選択肢として記載されています。</p> <p>【想定される不利益】</p> <p>各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。</p> <p>【対策】</p> <p>副作用が発現した場合、通常の診療にて対応を行い、必要に応じて各専門医とともに治療にあたります。</p>
連絡先	〒572-8551 寝屋川市香里本通町8番45 関西医科大学 香里病院 医療倫理委員会（適応外） 代表 072-832-5321

関西医科大学 香里病院

2023年12月1日作成

当院で承認された適応外医薬品等について

当院では以下の適応外医薬品を用いた診療を医療倫理委員会にて承認いたしました。

対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

適応外使用する医薬品の成分（代表的な商品名）	・KCL 注10mEq キット「テルモ」（10mL） ・アスパラギン酸カリウム注10mEq キット「テルモ」（10mL）
承認されている主な適応	カリウムの補充
本医療の対象となる方	高度の水分制限や速やかな補充が求められる患者
概要	<p>【目的】</p> <p>低カリウム血症に対する治療は通常内服薬でカリウムの補充を行います。重症の場合や内服困難な場合は注射薬を使用します。カリウム注射薬は、厚生労働省が定める用法用量において一定の濃度（40mEq/L）以下に希釈して使用することとされています。しかし、高度の水分制限や速やかな補充が求められる状況では、高濃度で使用しなければならない場合があります。</p> <p>このような場合、院内の倫理委員会で承認された希釈方法で使用場合があります。</p> <p>【想定される不利益】</p> <p>カリウムの補充により、予想より血清カリウム値が上昇することがあります。その場合は不整脈や心不全をきたす恐れがありますが、異常が確認された場合は速やかに減量または中止します。</p> <p>【対策】</p> <p>輸液ポンプの使用および心電図モニターによる管理を条件とする。</p>
連絡先	〒572-8551 寝屋川市香里本通町8番45 関西医科大学 香里病院 医療倫理委員会（適応外） 代表 072-832-5321

関西医科大学 香里病院

2024年5月1日作成